

つちおと

長島復興副大臣による気仙沼市及び南三陸町視察！

- このたびの安倍内閣改造により就任いたしました、長島復興副大臣（宮城県担当）が9月11日（木）から12日（金）にかけて、気仙沼市及び南三陸町を表敬訪問、視察しました。

長島副大臣は、11日、気仙沼市役所にて、菅原市長より要望書を受け取り、意見交換した後、南気仙沼地区や鹿折地区の土地区画整理事業、大谷海岸防潮堤事業など市内を視察しました。南三陸町では、志津川東地区と八幡川左岸地区を視察しました。12日には、南三陸町役場にて、佐藤町長より要望書を受け取り、意見交換しました。

今回の視察で、まだ復興の道半ばである気仙沼、南三陸の現状をしっかりと見させていただきました。今後さらなる復興の加速化に取り組み、1日も早い復興に向けて努力して参ります。



菅原市長の説明を受ける長島副大臣
(気仙沼市の南気仙沼地区)



佐藤町長から要望書を受け取る長島副大臣
(南三陸町役場)

◆暑い、暑いと言っていた夏も終わり、朝晩は冷え込む季節となっています。(季節の変わり目でカゼをひきませんように気を付けて下さい。)温暖化の影響で、なんとなく台風の勢力が衰えず(以前と比べると)東北に来るような気がしています。温暖化の影響といえば、日本国内でセアカゴケグモ、アルゼンチンアリ(ともに外来生物)の分布が拡大しているようです。また、世界的には海面の高さは、3mm/年以上のスピードで上昇をしているようです。(壮大なスケールなので実感できませんね!)

◆気仙沼支所管内の復興交付金事業計画策定支援(第10回)を行っておりますが、(市町の皆様、おつかれさます。)事業計画の提出期限は、10月中旬となっているので締切までに十分な余裕をもって提出方をお願いします。各省庁との協議調整を行い配分可能額を通知する手続きとなります。詳細については、さておき支所も共に汗をかくつもりでありますので、引き続きよろしくをお願いします。(松)

～ コミュニケーション麻雀講習会！ ～

9月6日（土）、一般社団法人ボランティアステーション in 気仙沼の御厚意により、コミュニケーション麻雀の講習会に参加させていただきました。同団体は、仮設住宅での生活や、新しい住宅への移行に際し、新たなコミュニティや人間関係を築く必要性に迫られる状況がある中で、「地元ボランティアによる見守りや心のケアができる組織と体制づくり」、「住民の新しいコミュニティ形成をサポートする地元被災者による地元被災者のための団体」を目指して活動しています。



講習の様子

講習は、コミュニケーション麻雀協会の講師により行われました。同協会は公益財団法人木口福祉財団の助成を受け、人と人の繋がりを深めるため、主体的で自発的なコミュニケーションを住民自らが実現できる仕掛け作りの一つとしてコミュニケーション麻雀の普及を進めています。東北3県の社会福祉協議会や地域団体・グループ、福祉施設等にコミュニケーション麻雀を寄贈し、講習のために各被災地を回っています。



卓の設置から共同作業

コミュニケーション麻雀は、「自然と足が向く」「気軽に集まり、喋る」「ほっと気持ちが休まる」居心地のいい居場所づくりのために、非常にたくさんの工夫が凝らされたコミュニケーションツールです。



牌は、手のひら大の大きさ



2～3人が1組となってゲームする

麻雀と聞くとぎょっとする方もいらっしゃると思いますが、麻雀であることにも深いわけがあるのに驚きました。（ご想像ください。）また、卓が広いため、設置や牌を混ぜるのに立ったり腰を伸ばしたり、牌が大きいので手指の運動にもなります。そして、一人でゲームするのではなく、2～3人で1チームとなるので、コミュニケーションが生まれます。

新しいコミュニティ形成にいかがでしょうか。

～ 復興支援インターン！ ～

第26号でも紹介しました「復興支援インターン」ですが、南三陸町に引き続き気仙沼市においても実施いたしました。これは、日本全国の大学生に、被災企業での職業体験等を通じて、被災地の現状、課題等について学ぶとともに、そうした自らの体験等を広く発信していただくことにより、震災の風化・風評の抑制、復興支援に当たる若者の人材育成、被災地産業及び被災地全体の復興に寄与することを目的とするもので、復興大学が主催、宮城復興局などが共催しています。

9月15日（月）から9月20日（土）にかけて、気仙沼市の水産加工会社6社に受け入れて頂きましたので、その様子をお知らせします。

学生たちは、今後、各大学に帰って、情報発信に取り組んでいきます。

今回の受け入れ企業や、参加大学などは復興庁HP（以下のURL）に掲載しております。

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/20140808fukkouinta-n.pdf>



宿泊所でのミーティングの様子



新商品提案の機会まで
設けてくださったインターン先も

～ 東舞根復興道路トンネル視察会！ ～

9月28日（日）、気仙沼市唐桑町舞根地内でトンネル視察会が開催されました。

本道路、トンネルの整備は東日本大震災で甚大な被害を受けた、舞根1・2地区防災集団移転地への、気仙沼、唐桑の中心地からのアクセス道路として宮城県と気仙沼市が連携して進めているもので、第1回復興交付金の配分をしました。トンネルは、10月末に貫通を予定しており、その前に地元の皆様を招いたものです。

視察された皆様の多くは仮設住宅で避難生活を送っており、地区の復興が進んでいることに大きな期待をよせるとともに、一日も早く生まれ育った故郷へ戻りたいものだと話していました。



トンネル内の様子



復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【10月14, 15日】スマートコミュニティ東北2014 主催：スマートコミュニティ東北実行委員会

東北地方の復興、復旧、再生そして発展と世界のスマートコミュニティ市場の発展に向けて貢献することを目的とした「スマートコミュニティ東北2014」を開催します。復興庁他後援。

◇開催日 10月14日(火), 15日(水) ◇場所 仙台国際センター(仙台市青葉区)

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.f2ff.jp/sct/2014/>

【10月18日】楽しいエイジング2014 主催：東北大学/東北大学加齢医学研究所

加齢とうまく付き合うための科学、老年期を愉快地に過ごすノウハウを気軽に学んでみませんか？(年齢を問いません)

聴講無料 定員約100名 申し込み不要 ソフトドリンク+お菓子付き

10月18日(土) 気仙沼会場 「美しさを願うことがもたらすもの」 講師 阿部 恒之(文学 教授)

◇開催時間① 10:30~11:30 ◇場所 大谷公民館 ◇開催時間② 14:00~15:00 ◇場所 面瀬センター

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.idac.tohoku.ac.jp/demae/img/poster2014.pdf>

ナンプレにチャレンジ！！

6							3	9
2	9	3	7	4				
		8		9			7	4
4	8			2				
1			4		9			6
				7			2	4
	3	1		6		2		
				1	3	9	6	8
8	6							3

ルール

- ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
- ・太枠で囲まれた9マス(縦3マス、横3マス)にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

【編集後記】

◆9月は休みが多かったので、イベントへ行くことが多くなりました。コミュニケーション麻雀講習会、前泊での海岸清掃ボランティア、海の市のサンマ祭など。いろんな場所で、ずいぶんと様々な方々と知り合いました。(前号のナンプレの回答)

7	6	1	4	9	8	2	5	3
5	9	8	6	2	3	4	1	7
4	3	2	1	7	5	6	9	8
9	5	4	2	8	6	3	7	1
3	1	6	7	5	4	9	8	2
8	2	7	9	3	1	5	4	6
1	4	9	3	6	7	8	2	5
6	7	5	8	4	2	1	3	9
2	8	3	5	1	9	7	6	4

本復旧前の気仙沼線脇の コスモス



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>